

桐朋小学校

【理事長】河原 勇人

【校長】中村 博

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1 TEL 03-3300-2111 <https://shogakko.toho.ac.jp> 【交通】京王線仙川駅／小田急線成城学園前駅、狛江駅、京王線調布駅より小田急バス「仙川駅入口」／JR吉祥寺駅、三鷹駅より小田急バス「仙川」

一人ひとりの、幸せな 子ども時代のために

桐朋小学校の教育方針

- 子どもを原点にし、一人ひとりに寄り添います
- 一人ひとりの子が、社会のつくり手となりゆくための根っこを育てます

「個」と「集団」を重視した教育を

子どもたちが毎日学校へ来ることを楽しみにするような学校生活をつくりだしたいと願い、教科学習やさまざまな活動に、子ども自らがとりくむようにしています。そして、遊びなども含むあらゆる活動を通して学ぶことを大切にしています。

桐朋小学校は、子ども一人ひとりが現在を充実させて生きること、その子らしく生きることを大切にしています。「教科教育」「総合活動」「自治活動」の3領域を置き、教職員が個性豊かに協働しながら展開していきます。

低学年は少人数の24名で運営されます。3年生からは36名2学級制となり、より幅広い視野で様々に取り組みます。外国語・総合・社会科を包括した「地球市民の時間」は、多文化共生、国際理解はもちろん、世界の平和や持続可能な未来のために考え行動できる人を育て、未知の出会いを楽しむことを大切にする、まさに学びの土台を育む時間です。

桐朋小学校の特色

独自の教材●子どもに正しい知識をしっかりとした理解の上で蓄えさせるために、教師が自主的に編集しています。学年ごとの漢字ドリルや、内容を精選し、すじ道だった指導ができるようにと心がけた『さんすうテキスト』などがあります。

八ヶ岳合宿●4年生以上の学年は、毎年、八ヶ岳高原寮で合宿活動を行います。登山、野外料理、グループ別活動など、自治的・集団的活動が展開されます。

栽培活動●低学年から授業のなかに畑での作業が組み込まれており、自分たちの手で作物を育て、収穫します。子どもたちはここで五感をはたらかせて学んでいきます。

しぜんひろば●「しぜんひろば」の名前は子どもたちがつけました。四季を感じながら土の匂いや豊かな緑、生きもの観察などが体験できる子どもたちに人気の場です。



沿革

昭和15年、山下汽船株式会社社長山下亀三郎氏による陸海軍への献金を基に、桐朋学園の前身である財団法人山水育英会が設立された。同22年、敗戦によって山水育英会は、いっさいを東京教育大学に移管、財団法人桐朋学園が誕生。同26年、財団法人から学校法人桐朋学園に改組。同30年には幼・小・中・高校の一貫教育体制をめざして、普通科に、幼稚園・小学校を設置。平成21年、少人数クラス編成が完成。

2024年度募集要項 [前年度]

募集人員：男女72人（内部進学者を含む）

出願期間：10月1日～3日

（インターネットによる出願）

審査料：25,000円

審査日：11月4日～7日のうち指定された1日

発表日：11月9日（郵送）

【かかる費用】

入学金：300,000円

授業料：50,600円（月額）

その他、詳細はホームページを参照

併設中学進学状況

◆桐朋中学校（男子 一）

◆桐朋女子中学校（女子 一）

データパック

◆児童数432人／教員数22人（23年度）

◆24年度応募者数：544人

◆合格者数：72人

【併設校】

○桐朋幼稚園

○桐朋中学校・高等学校

○桐朋女子中学校・高等学校

○桐朋学園大学

○桐朋学園芸術短期大学

○桐朋学園大学院大学

上級学校に進むには

女子は桐朋女子中学校、男子は桐朋中学校へ、それぞれ推薦入学制度があります。

教育目標

コミュニティとして成立する学校、子どもたちの顔が見える学校を基底として

- ①豊かな感性を育む
- ②しなやかな身体を育む
- ③確かな学力を育む
- ④総合活動で、生きる力を育む
- ⑤子どもの主体性を育む

ことを大事にしている。